

2024年10月

NPO法人 学習塾全国連合協議会

NPO 塾全協

塾全協通信

題字：怜齋（白川亮 進ゼミ柏）

塾全協西日本ブロックセミナー 2024.7.14

書く力のアップのために 小論文指導法



小島達也 朝日塾宙SOLA

小島先生は現在、岡山市にある個人塾「朝日塾宙SOLA」で中高一貫校の生徒を中心に小学受験から大学受験まで、20年以上にわたり幅広い生徒さんの指導にあたっておられる。

小3から通っている塾生が推薦枠（自己推薦文と共通テスト）で岡大医学部医学科に合格。さらに、同じく小4から9年間指導してきた生徒が高2の東進全国統一テストで全国1位、今年、東大教養学

部に推薦で合格した。

また、週4回地元の倉敷高校で3年生の現国と小論文を指導されており、その高校で指導を始められてから、国公立大学合格者数が着任以前には1, 2名だったのが、着任して4年目には28名と飛躍的に増えている。入試に小論文を課す国公立大学の学部が急増していることに注目し、その指導に力を入れたことがその大きな要因となっている。いずれも見事な実績である。

- ・安易にもっともらしい文章が書ける生成AIは子ども達の思考力にプラスになるのか。
- ・ギガスクール構想によってますます活字離れがすすむのではないか。
- ・その一方で、小論文をはじめとする記述型入試が急増している状況にどう対処するのか。
- ・そういった課題に対して、塾としてどのように対処し、実績をどう積み上げていけばいいのか。

今回のセミナーではこれらの問題に対して、小学3年生から高校3年生まで長年にわたって指導されてきた経験を通して蓄積されてきたことをもとに、小論文の指導方法を通してお話しいただいた。大量の資料で中学入試から大学入試まできめ細かな分析や指導例を御紹介いただいたが、ごく一部しか紹介できないことが残念である。

○ 入試の改革で、「書く力」が求められている

大学入試は・・・学校推薦や総合型選抜などの増加で小論文を学力試験の代わりに課して学部への適性を判断する選抜する方法が増え、大学の生き残りを賭けて大きく変わろうとしている。

中学入試は・・・岡山県では私立中学も公立の中高一貫校の適性検査型入試と同じそっくりな型が大部分になり記述問題が増えた。

高校入試は・・・思考力・表現力を問う記述問題が増えている。

○ 記述型に強い生徒を育てるために

現状は→長文が読めない・文が書けない子が増えている。

ゲーム等の普及で読書離れが進み、頭の中で文字から映像へ、映像から文字へという変換ができない子どもたちが激増し、その語彙数は激減している。

石川教育研究所のデータを見ると、学力と語彙数・読書冊数は比例し、テレビやスマホなどの視聴時間に反比例する。

またゲームは文字を媒介しないので推論を立てることができない。小さいころからやっているとどっぷり浸かって抜け出せない。

国語の4技能のうち、文字情報を頭の中で動画情報に変える(インプット読む・聴く)のが読書で、頭の中の動画情報を文字に変える(アウトプット話す・書く)のが作文・小論文。

だからインプットが動画情報だけで、文字情報を経っていないので作文小論文が書けない。

↓

読書(インプット)こそ国語力の栄養源である。

○ 「どうすれば書けるようになるのか？」 そのために必要なことは・・・

1. 具体と抽象の間を行き来できる

2. 10の法則とは・・・以下の10の法則は詳しい説明があったが①の一部のみ例を上げておく。

① 具体例はカットする

例 A君の会話です。

I 「B君てとてもやさしいんだよ。」

II 「昨日、横断歩道で困っていたおばあさんの手をひいてあげたし、その前は僕が落とした消しゴムをわざわざひろってくれたんだ」

ここではIとIIのどちらを言いたいのでしょうか？

もちろんIですね。IIはB君がいかに優しいかの具体例にすぎません。読解では言いたいことを述べた後にそれを証明するために具体例がよく出てきます。

上の1. 具体と抽象を分けて読める→書けるようにしていくことが大切です。

② 事実描写はカットする

③ 「しかし、だが」の前はカットし、後ろを押さえる。

④ 否定・肯定表現は否定部分をカットし、肯定部分を押さえる。

- ⑤ 「つまり」の後ろを押さえる。
- ⑥ 問い・答え型は問いと答えを押さえる
- ⑦ 「なるほど・たしかに・もちろん」に注意する
- ⑧ 同じことの繰り返しは短いほうを取る。
- ⑨ 対比が出てきたら引き立て役をカットし強調されているほうを押さえる。
- ⑩ 「このように・こうして」の後はまとめが来る。

3. 文章の構造が相似形だと理解できる→内容は違っても型が同じである

(例) 次の文章の構造を説明しなさい。

夏の暑い日、アリ達がせっせと運んでいます。アリたちは一体、どんなものを運ぶのでしょうか。

まず、砂糖をアリの巣の近くに置くと、アリたちが群がってきます。

次に、ケーキのひとつまみをアリの巣の近くに置くと、やはりたくさんのアリたちが集まってきます。

このように、アリたちは甘いものを好むのです。

はじめ	話題	何についての文章?(つかみ)→「夏の暑い日、～」 問いかけ(～でしょうか、～か…)→「アリたちは～でしょうか。」	
なか	証明	読者の共鳴・共感を得るための事実や具体例 その1 →「まず、 砂糖を～」(並列型)	並列型 「まず・次に・第1に」
		読者の共鳴・共感を得るための事実や具体例 その2 →「次に、ケーキ～」(並列型)	対比型 「それに対し・一方・しかし」 混合型 「まず・一方」
おわり	要旨	、「このように・こうして～」 一番言いたいこと → 「このように、アリ～」 要旨・まとめ	

- 4. コラム・説明文の要約ができる。
- 5. 小論の設計図が書ける
- 6. 基本的な文法事項をマスターしている
- 7. 「滝の原理」(感動や納得は落差に比例する)が使える
 落差の演出例 ライザップの CM デブの人がやせてたくましい筋肉質の人になる
 サプリの CM ひざが痛くて歩けない人が、飲むと楽々歩けるようになる。

小論文の書き方 例

初めに5分ほどで短文を書かせて文を作ることに抵抗をなくす→200字の作文を書かせる→600字の小論文が書けるようにする

「二〇〇字小論 23年 岡山中学入試」 →小学生も高校生も書いてもらう

◆あなたの小学校時代を表す漢字一文字を答え、その漢字を選んだ理由を具体的な経験をふくめて書きましょう。また、これからの中学校生活をよりよいものにするための決意を表す漢字一文字を答え、その漢字を選んだ理由を書きましょう。字数は全部で二百字以内としますが、字数の割合は百字ずつでなくてもかまいません。それぞれ『「」を選んだ理由は・・・』から始めましょう。

(()、 。 「 」なども一字に数えます。段落分けはしなくてよろしい。)

小学校時代を表す漢字 歌

中学校生活への決意を表す漢字 英

設計図を書こう→小論文は論理性を重視するので、最初に設計図を書くことが大切である。

設計図を書かないと途中から論点がずれてしまったりする。

設計図	理由1	小5のとき、合唱クラブの仲間とNHKの合唱コンクールで金賞を取ることができ、岡山県の代表に選ばれた。
	体験等	建部町の会場に向かうバスの中でも合唱の練習をして、とても楽しかった。
	理由2	将来は、英語を使って国際連合で働きたいから。
	体験等	姉が高1のとき、国連英検でC級に合格した。私は、中学生でB級をとることを目標にしたい。

解答例

「歌」を選んだ理由は、小5のときA小学校の合唱クラブの仲間とNコンの岡山県大会で金賞をとることができて、中国大会に進出できたからです。金賞の発表があったとき、ジワッと感動がこみあげてきて思わず泣いてしまいました。中学校生活への決意を表す漢字として「英」を選んだのは、将来、国連で働き、世界平和に貢献したいからです。姉は高1で国連英検の高卒ランクのC級に合格しました。私は、中学生でC級に合格したいです。 200字 た

上記のように具体的な解答例をあげないとほとんど書けない→書けたらほめてあげる

最後に、今回のセミナー開催にあたって小島先生は一つの提案をされている。

○ 国語授業の問題点と解決策

1. 国語4技能のうち書くためのテキストと指導法が確立されていない。

①知悉語彙数は年齢ではなく読書量に比例するので、小論文指導は学年制でなく、無学年進級制にすべきである。

②文科省のギガスクール構想によって紙に書かないことが当たり前になり、動画の隆盛により文字離れが進行し読み書きが不足している。

2. 書くためのルールがオーソライズ(公認)されていない→原稿用紙とマス目や「以内」「程度」、段落分けなど

3. 一つ一つのテキストは優れていても、塾で使うには多くのテキストを持たせる必要がある。

4. ZOOM を利用した遠隔授業や個別指導に適した指導法、テキストが確立されていない。

5. 約30通りしかない問題形式別の解答法が確立されないまま、漫然と問題を解いている。

6. ジャンル毎に「文章は相似形」であることが認識されていないので分析的に読解されず書くことができない。

○ 提案の趣旨(解決策)

1. 今回の勉強会を踏まえて権威主義ではなく現場主義を基本とし組織を超えたコンソーシアム形式で塾用教材と指導システムを構築し経験を蓄積する。

2. ZOOM 等の遠隔作業も含む集団指導用と個別指導用の各ジャンルを統合した塾テキストと指導システムを作る。

内容からわかるように、作文から小論文(小1～高3)までの指導の現状を理解し、それに合わせて現場の指導者たちが個々にぶつかっている問題や困難や苦勞を少しでも解決するために、共同で塾用のテキストと指導システムの確立をやっていこうという提案である。

教材を作成する場合に上記のようなことが可能なかとも思うし、たいへん難しいことだと思うけれど、この提案が一つのきっかけになって現状の問題点が少しでも解決に向かうことで塾での小論文指導がより向上することを望んでいる。(文責 平野芳英 I塾)

第36回 千葉地区私立中・高 進学相談会

日時：2024年9月8日（日）13:30～17:00

場所：酸化流通経済大学新松戸キャンパス（4階大教室）

ブース参加校：31校

来場者数：約800名

レポーター：中村基和

今年度は日程の改善や、同じ日に同じ会場で開催されるVモギの受験者に来て貰ったりと、来場者数は去年の倍以上でした。「マックカード」のプレゼントも好評でした。



↑ 開会セレモニー

↑ 会場直前の入り口

↑ 会場直後の入り口

403教室（会場①）の様子





↑ ブース配置図

↑ ここが会場①(右)と②(左)の分かれ目

404 教室 (会場②) の様子





① ②の会場以外の追加ブース



ポイントラリーコーナー



閉会セレモニー

齋藤由紀 実行委員長の挨拶

